

発見! 探検!

射水の道②



～越中浜往来～

私たちのまちに残された古い道をたどってみよう!



江戸時代の射水の道を描いた「射水部分間絵図」
国指定重要文化財「石黒信由関係資料」
(一財)高樹会所蔵 射水市新湊博物館保管

射水の道 はまおうらい ～越中浜往来～

越中浜往来（浜街道）は、射水市の北部、富山湾に沿った道です。室町時代に京都から浜往来を旅した僧侶の道興が書いた「廻国雑記」や貴族の冷泉為広の「越後下向日記」に、「六ダウ寺」「ハウシ津」「アラヤ」「メウシン」「エビエ」「ネリヤヒ」「アシアラヒ」の地名が登場します。江戸時代になると、浜往来沿いには町家づくりの家並みが続き、拡大していきました。元禄2年（1689）俳人松尾芭蕉が「おくのほそ道」の旅で放生津を通ったとき「早稲の香や分け入る右は有磯海」とよんでいます。享和3年（1803）日本全図を作るため海岸線を測量していた伊能忠敬は、能登から放生津町へ入って宿泊し、高木（射水市）の測量家石黒信由と交流しています。このパンフレットでは、越中浜街道の沿線に残されている文化財や特徴ある地理などを紹介します。



9 放生津八幡宮

境内の南に接して浜往来が通ります。伊能忠敬も八幡宮の存在を日記で書き残しています。境内の松に天狗が宿る伝説があります。



10 浜往来の石仏群

冷泉為広は、荒屋から練合の間に33体の観音像があったことを記しています。浜往来沿いの石仏は、為広が見た観音信仰を受け継ぐものです。

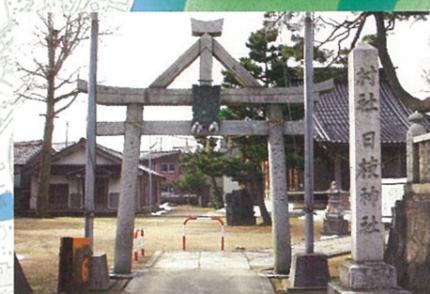


11 放生津潟と富山新港

富山新港は、放生津潟を切り拓いた港です。潟の北に浜往来が通り、潟の排水口である堀切があり、橋がかけられていました。



表紙の古い地図と今の地図を見比べて、旧浜往来がどの場所を通過していたか探してみよう



1 六渡寺湊と日枝神社

平安時代から日吉大社（滋賀県）に仕える商人が住む湊でした。日枝神社には江戸時代に廻船商人が奉納した玉垣が残されています。



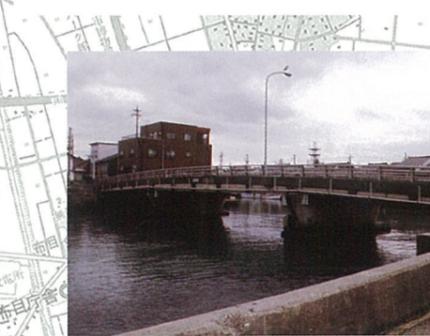
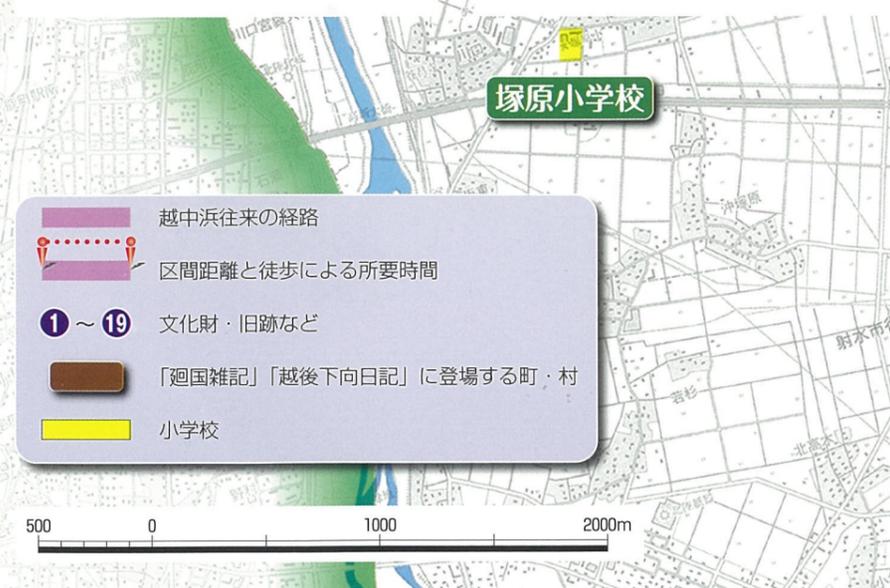
2 三ヶ新の道標

浜往来から高岡へ行く道が分かれる場所に立っています。「越後出羽道」「右能登左京」と刻まれています。



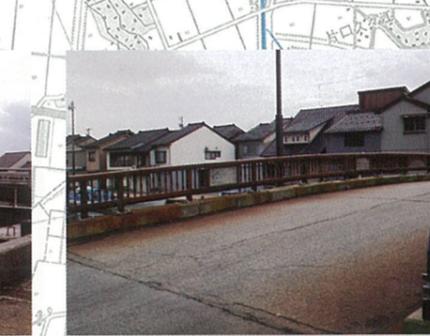
3 西橋

放生津内川河口の西にある橋です。江戸時代、浜往来は西橋を渡り、内川の南にある三日曾根と放生津新町を通るルートでした。



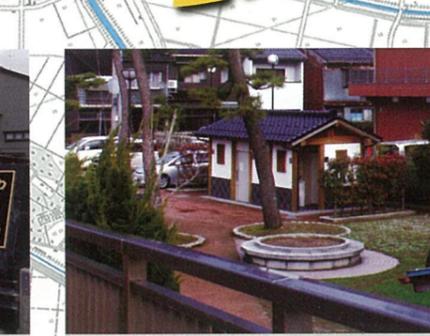
4 湊橋

放生津内川の河口にあります。もともと橋はありませんでしたが、江戸時代の大火をきっかけに橋がかけられました。



5 中の橋

江戸時代前期にかけられた橋で、放生津新町を通った浜往来が、中の橋で再び放生津内川を渡りました。



6 山王町公園

周辺には江戸時代に放生津町を取りまとめた町年寄の大西家・泉田家の屋敷がありました。公園東側に伊能忠敬が泊った材木商の柴屋がありました。



7 川の駅新湊

秋の放生津八幡宮祭礼で巡行する曳山車のうち、2本が常設展示されています。内川周辺を周遊する遊覧船の発着場もあります。



8 「さまむすこ」の町並み

浜往来に沿って建てられた古い民家には、さまむすこ（狭間虫籠）と呼ばれる千本格子が残されています。



むかしの道をおもひてみよう！

むかしの道は、ほとんどの人が徒歩で通行していました。そのため、道を行き交ったむかしの人が残したふるさとの歴史は、自動車を通して見ることができません。

道ばたの石仏、銅像、古い街並み、神社・お寺など、むかしの道を歩いてたどることで、今まで気づかなかったいろんな発見をする楽しみがあります。



12 新湊大橋

富山新港の東西を結んでいます。海面から橋げたまでの高さが47メートルあります。車道の下に歩道があり、現代の浜往来として歩くことができます。



13 富山県営渡船

富山新港の造成に伴って浜往来が切断された代わりに、富山新港の東西を結んでいるフェリーです。



14 棹取り松

堀岡地区を流れていた十間川のそばにあります。川を盗賊の船が通ったところ、松の上に住む天狗が船棹を奪ったという伝説が残されています。



15 堀岡地区の坂道

堀岡地区の浜往来周辺に海岸砂丘があり、南に向かって緩やかな下り坂になっています。



16 加茂神社

秋祭りには、海老江浜で見つかったクジラにまつわる伝説を持つ神輿とともに、曳山3本が巡行します。



17 大宝寺

浄土宗を開いた法然の弟子が開いたと伝え、現在は浄土真宗のお寺です。阿弥陀如来を描いた室町時代の仏画などを公開しています。



18 天狗松の跡(海老江)

浜往来のそばに、天狗が住むという松がありました。大木に天狗が宿る伝説は、浜往来沿いにいくつも残されています。



19 足洗湯と親鸞像

鎌倉時代、浄土真宗を開いた親鸞が浜往来を旅する途中で足を洗ったという伝説が、湯の名の由来です。浜往来を通ったとされる人を調べてみよう。

お問い合わせ



射水市教育委員会 生涯学習・スポーツ課

射水市加茂中部893 (射水市役所下庁舎内)
☎59-8092
bunkazai@city.imizu.lg.jp